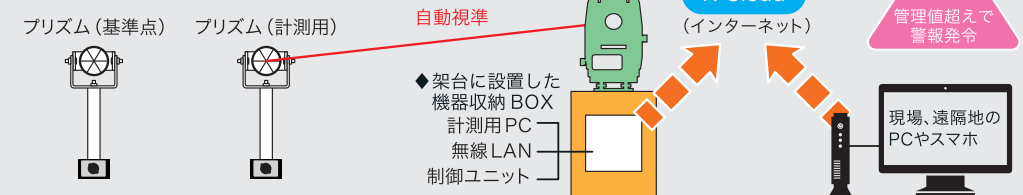
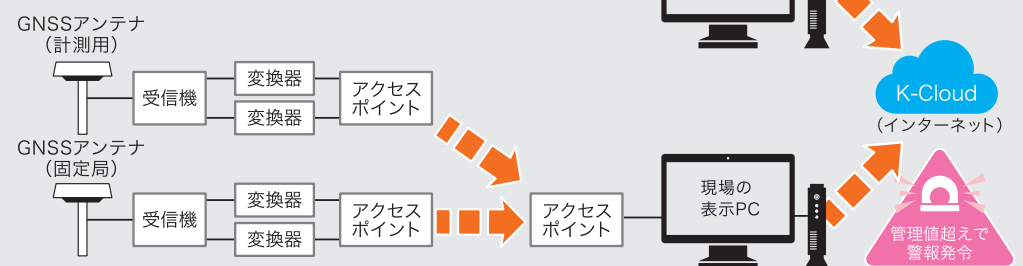


構成例

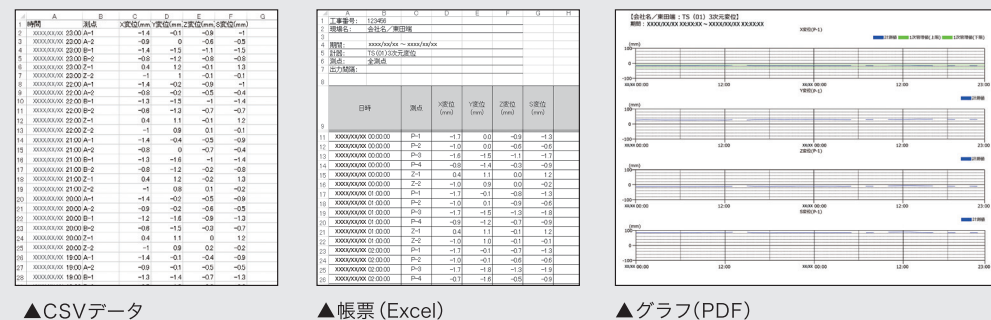
トータルステーション仕様



GNSS仕様



成果物



オプション

桁形状予測システム

最初に据えた桁の設計位置にプリズムを複数個設置し、桁の位置と設計値を比較したズレ量から以降のズレ量を予測するシステムです。

対応：クレーンベント工法



橋梁桁変位自動計測システム 3Dブリッジ

桁架設工事における桁の位置情報を3次元座標で管理し、設計値との差分を表示することで精度向上に貢献するシステムです。データで管理することで正確な情報を取得・記録・出力し、効率化をはかります。トータルステーションの自動追尾機能またはGNSSアンテナを使用して施工中の桁の位置座標を取得するので、計測のために作業を中断することなく精度管理を行えます。

	3Dブリッジ	従 来
必要人員	無人	2名
使用機材	トータルステーション、GNSSアンテナ	レベル、スタッフ
計測時間	24時間稼働 任意のインターバル	施工を一時中断して計測
計算方法	自動解析→記録	手計算
警報発令	管理値設定→自動発報	なし
計測データ	実測値、設計値との差分	実測値

K-Cloud対応時にご利用いただける、便利な機能



測点名	時間	X変位 (mm)	Y変位 (mm)	Z変位 (mm)	S変位 (mm)
KNS-01	XXXX-XX-XX XXXXXX	0	0	0	0
KNS-02	XXXX-XX-XX XXXXXX	-1.5	1.3	0.5	3
KNS-03	XXXX-XX-XX XXXXXX	-1.7	1.3	0.4	3.1
KNS-04	XXXX-XX-XX XXXXXX	-1.5	2.6	0.5	3.3
KNS-05	XXXX-XX-XX XXXXXX	1	2.2	-0.6	-1.1
KNS-06	XXXX-XX-XX XXXXXX	0.6	2	-0.2	-0.6
KNS-07	XXXX-XX-XX XXXXXX	1.7	1.8	0.4	-1.4
KNS-08	XXXX-XX-XX XXXXXX	1.5	0.9	0.3	-1
KNS-09	XXXX-XX-XX XXXXXX	NG	NG	NG	NG
KNS-10	XXXX-XX-XX XXXXXX	0	0	0	0

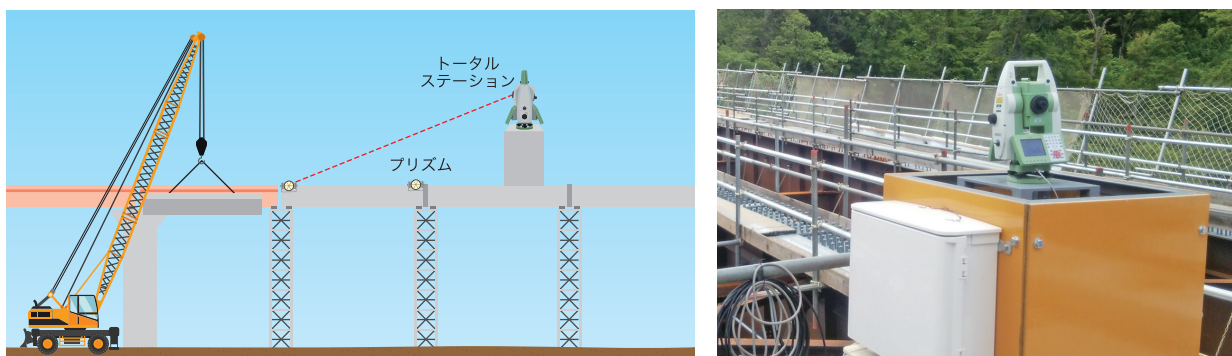
- WEBブラウザでどこからでも確認
- 管理値を超えたらメールでお知らせ
- 簡単に帳票やグラフを出力



工種毎の例

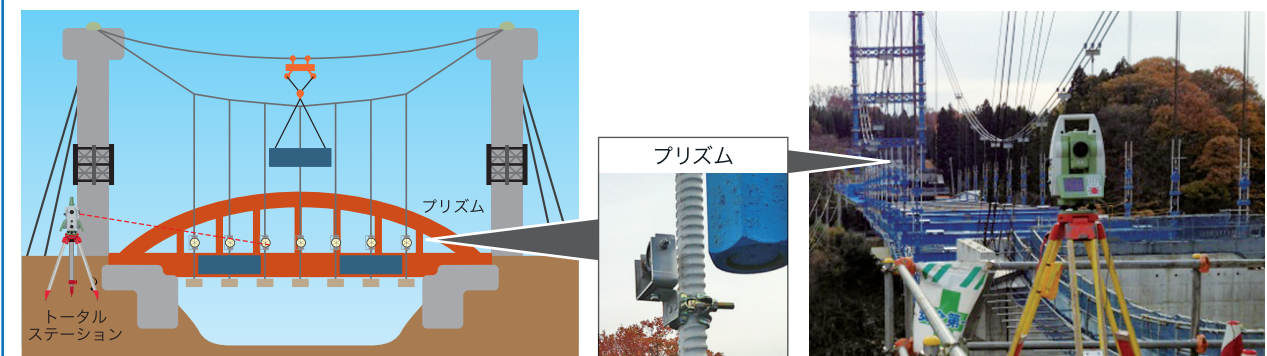
クレーンベント工法

端部にプリズムを設置してトータルステーションで計測し、座標データを取得します。設定した設計値と実測値の差分を表示します。



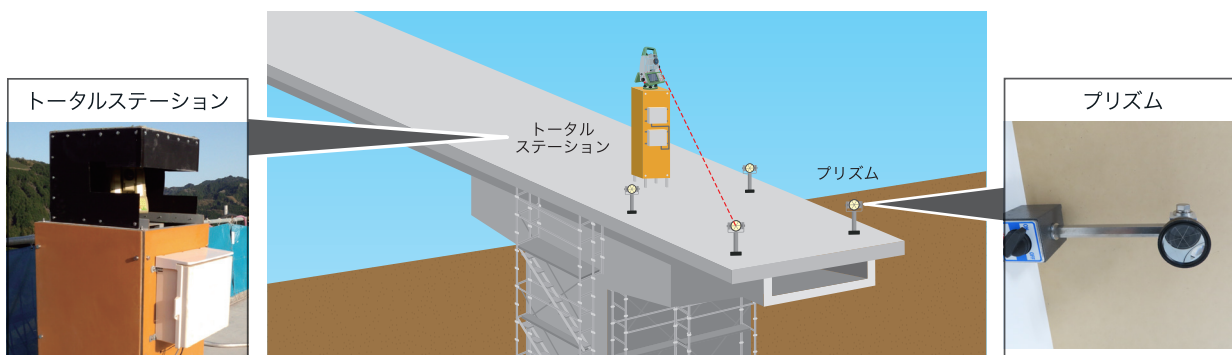
ケーブルエレクション直吊工法

受梁の位置とワイヤー滑車位置を計測することにより、架設中の橋体変形や桁の架設位置が確認できます。



張り出し工法／斜張橋架設

桁の各ステップ位置を計測することにより、張り出し工法では桁の経時によるたわみ状況を把握できます。また、斜張橋架設の場合、桁の沈下状況を把握することができます。ワイヤーで調整する際の目安になります。



送り出し工法

桁ならびに手延べ機の位置を計測することにより、送り出し中の桁の位置を把握できます。
※警報メールには非対応

